



K パル

<http://www.kpal.or.jp/>

川崎市生涯学習財団・川崎市生涯学習プラザ

Kパル 11号

平成 21 (2009) 年 3 月 1 日

(財)川崎市生涯学習財団

企画広報担当

TEL 044-733-5811

保存版

川崎市生涯学習財団が管理・運営を行う施設を紹介します

青少年の家

●田園都市線
「宮崎台」下車
徒歩 12 分

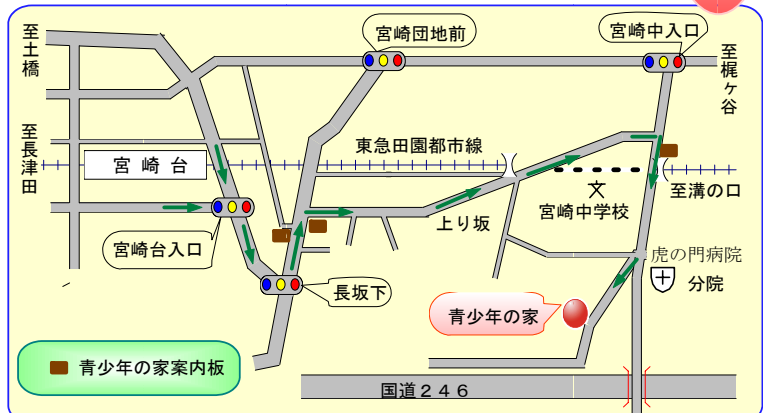
心身ともに健全な青少年の育成を図るため、青少年団体を中心とした市民が、宿泊を通して研修を深めることができる施設です。

【宮前区宮崎 105-1】

【電話 888-3588 Fax 857-6623】

【<http://homepage3.nifty.com>

/seisyounen-ie/】



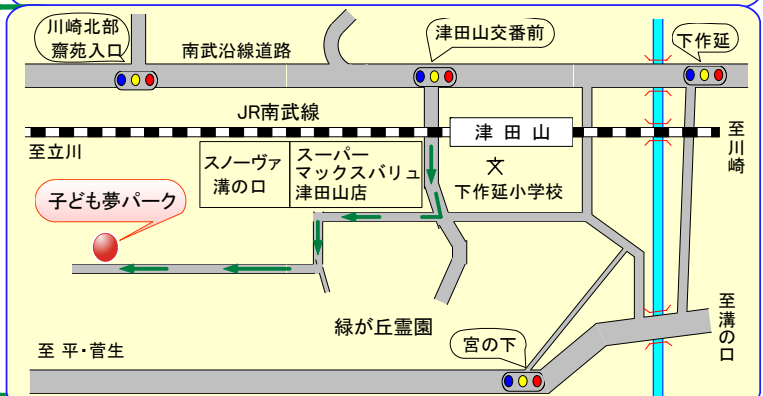
子ども夢パーク

●JR 南武線
「津田山」下車
徒歩 7 分子どもが遊び、
夢を育む場。

子どもの拠点および居場所を提供し、子どもの自主的および自発的活動を支援する施設です。

【高津区下作延 1500-6】

【電話 811-2001 Fax 850-2059】

【<http://home.h00.itscom.net/yumepark/>】

宮前スポーツセンター

●市営バス
「犬蔵」下車
徒歩 5 分
「白井坂」下車
徒歩 5 分

※JR 南武線「武蔵溝ノ口」、東急田園都市線「宮前平」「溝の口」、小田急線「生田」駅等から【溝15】【溝16】【生01】【宮03】【宮04】【宮05】系統を利用

多くの種目からスポーツデー・スポーツ教室を開催しています。高齢者を対象とした教室や0～2歳児を対象とした教室を開催するなど、多くの方が参加できるスポーツを取り揃えています。

【宮前区犬蔵 1-10-3】

【電話 976-6350 Fax 976-6358】

【<http://miyamaesc.web.fc2.com/index.html>】

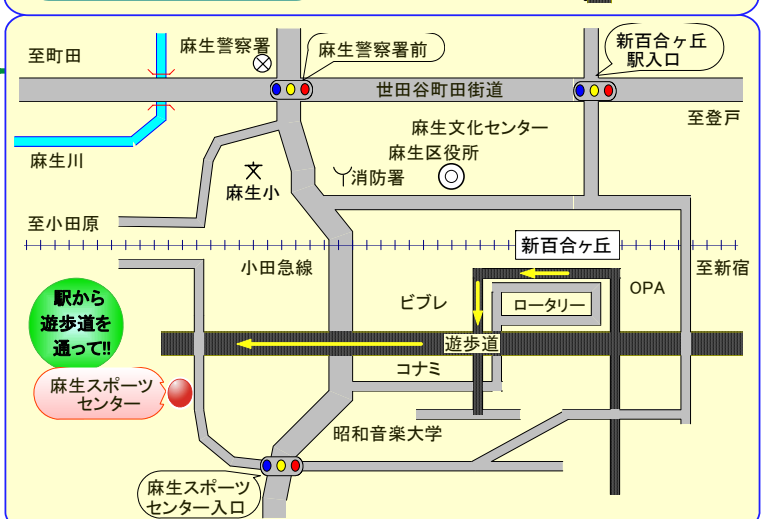
麻生スポーツセンター

●小田急線
「新百合ヶ丘」下車
徒歩 7 分

市民の健康・体力づくりのため個人開放以外に、春は親子スポーツ・真向法体操、秋は気功太極拳・卓球、冬はストレッチ体操・バウンドテニスなどの主催事業を行っています。

【麻生区上麻生 3-6-1】

【電話 951-1234 Fax 952-2447】

【<http://homepage2.nifty.com/asasupo/>】

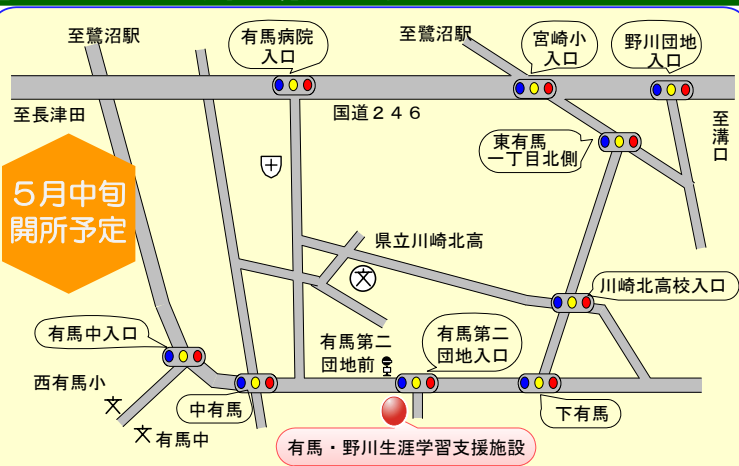
有馬・野川生涯学習支援施設



完成予想図

●川崎市バス
東急バス
「有馬第2
団地前」
下車 すぐ前

※東急田園都市線「鷺沼」または JR 南武線「武蔵小杉」、「武蔵中原」から、川崎市営バス・東急バス【鷺02】小杉駅行き、【鷺02】鷺沼駅行き
市民の生涯学習の振興を図るために設置され、様々な市民活動を行うグループ・個人を支援し、グループ間の交流や連携を図り、個性豊かで活力に満ちた地域社会をつくることをめざしています。
【宮前区東有馬 4-6-1】

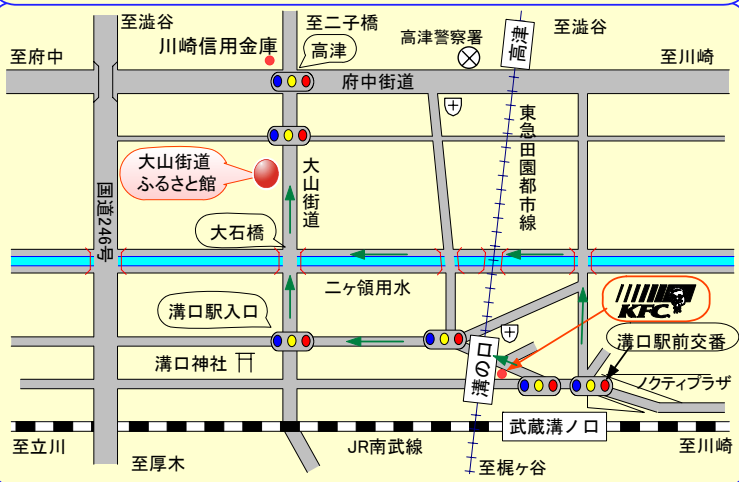


大山街道ふるさと館

●JR 南武線「武蔵溝ノ口」
東急田園都市線「溝ノ口」
下車 徒歩7分
東急田園都市線「高津」
下車 徒歩 5分

ふるさと館は、会議室と和室、また小さな展示室を持つ地元で愛されている施設です。

夏は、高津区民祭に併せ、冬は大山街道フェスタに併せ、通常展示のほか特別企画展を実施しています。郷土学習に、会議等にご利用ください。



【高津区溝ノ口 3-13-3 電話 813-4705 Fax 814-0250 <http://furusatokan.web5.jp/>】

現在に生きる大山街道（大山街道を歩く）～最終回～

—御殿場から東海道・三島宿へ—

矢倉沢往還は、足柄峠を越えて小山市竹之下から駿河に入りますが、この街道は北へ向かえば甲斐に通じます。古代の東海道は駿河から相模に入るほかに、甲府にも向かう道がありました。その分岐点は横走駅といわれ、現在の御殿場市域（浅間神社付近）と考えられています。北へ向かう道は籠坂峠を越えて甲斐に入り、山中湖の西、河口湖の東を通り、御坂峠を越えて甲府に向かいました。

御殿場地方は平安時代の末に開発されて、伊勢神宮の荘園となり、近世では幕府領の時代もありましたが、大部分は小田原藩領であり、足柄峠の東西は政治・経済上でも深い関係がありました。

矢倉沢往還は竹之下村を過ぎると御殿場村、神山村（御殿場市）、佐野村（裾野市）を通り、東海道の三島宿に達しました。三島は伊豆国の国府の所在地で、源頼朝が平家追討の祈願をした三島大社があり、足柄峠や籠坂峠を越えて下ってきた人々が一息つく宿場でもありました。

この矢倉沢往還は相模と駿河を結ぶだけでなく、駿河と甲斐、相模と甲斐とを結ぶ重要なものでした。三島や沼津などから塩や干魚類が甲斐方面へ送られ、甲斐からは材木、麻、木綿、煙草などが駿河や相模に運ばれました。また、江戸時代に入って富士信仰が盛んになるにつれて、6月、7月には参拝の人々で往来は賑わいました。



御殿場 新橋の『浅間神社』



小山市竹之下『宝鏡寺』

2008（平成 20）年 1 月（04 号）から 8 回にわたって連載した“現在に生きる大山街道（大山街道を歩く）”もこの号をもって終了となります。ご愛読ありがとうございました。

この記事は、澤口安雄氏が 1 年間かけて実際に歩いて書いて下さった貴重な記録です。第 1 回からの記録は、(財)川崎市生涯学習財団のホームページの「生涯学習情報」または「財団ミニチュラシ」からご覧いただくことができます。

大山街道のご案内は、『大山街道ふるさと館』にも多くの貴重な資料が展示されています（入館無料）併せてご利用ください。